



Model
01



Model
02



Model
03



Model
04



Model
05

瀬戸市の女性活躍推進ロールモデル集

チャレンジ Seto style

人はだれでも無限の可能性を持っています。
その可能性が、性別という理由で狭められることなく
だれもが夢に向かってチャレンジできるまちは
多様な個性がきらりと光る豊かな社会へとつながります。

もっと自分らしく 輝く未来へ

瀬戸のまちはあなたのチャレンジを応援します。



女性活躍推進企業紹介

大橋運輸株式会社

<http://www.0084.co.jp/>



代表取締役社長 鍋嶋 洋行氏

性別、国籍、年齢にとらわれず多様な人材が活躍できる職場環境を整備することが新たな付加価値の提供につながる。

平成10年に大橋運輸に入社し、同年11月に社長に就任しました。最初の10年は経営改善や組織改善に取り組みましたが、当時はまだ経営者としての経験も浅く、大切なことが見えていなかったと思います。

現場においては作業ミスより判断ミスに重きを置くことが大切であることに気づき、運輸業としての業績向上や組織強化に必要なのは力仕事だけではないのだと実感しました。

経営者とは「偉い人」ではなく「責任がある人」です。そして、経営者の仕事は職場環境を向上させて、社員のやる気を引き出すことです。中小企業として社員が気軽に上司に相談ができ、誰もが活躍できる職場にすることが社員の成長を高めます。

これから日本の労働人口は減少していきます。そんな環境で中小企業として多様な人材活用（ダイバーシティ）の取り組みを深めていき、新たな付加価値を提供できる人材を蓄えていきたいと思っています。

Staff Interview

一人一人が活躍出来る職場で責任を持って仕事に取り組んでいます。

安全課 事故対策室リーダー 篠原 景子さん

仕事のやりがい

大型ドライバーとして平成20年9月に入社し、大型トラックでの自動車補給部品の工場間輸送を行っていました。平成28年4月より本社、安全課事故対策室へ異動となりました。

事故対策室のリーダーとして業務改善や事故を起こしやすい要因・原因を探るとき、自分自身のドライバー経験を踏まえながら考えるとわかる事があります。この部署に女性が配属されるのは初めてで大変なこともありますが、少しずつ仕事としての楽しさや、やりがいも感じています。

職場環境について

品質向上の為に社員の皆さんのモチベーションアップが一番大切であり、無事故にも繋がると思います。

本社の女性社員の皆さんは、社会福祉士や運行管理者など資格を積極的に取得している他、トラックに搭載しているデジタル式運行記録計を活用した新しい仕組み作りや、新入社員の方が早く職場に慣れる



ための面談制度づくりなど、自ら業務上の問題点を発見して積極的に動き、一人一人が得意分野を持ち活躍しています。

オフの時間の過ごし方

一人の時間を大切にしています。

今後の目標

輸送の安全確保と無事故を目指していきたいです。

後輩女性へのメッセージ

男性職場であった事故対策室への配属に最初は気が重かったのですが、周囲の方々の協力のおかげで、今は安心して仕事ができています。

OHASHI TRANSPORT

Model
01

性別などにとらわれない人材採用のメリット

運輸業として安全・衛生は大切ですが、女性が企画した社員の健康管理プロジェクト（禁煙サポート、8020運動、食育など）は大きな成果が出ました。また、会議や委員会では女性ファシリテーターの活躍により、社員からの意見の幅が広がりました。更に、外国語対応ができる女性社員が会議に入ること、外国人社員も積極的に意見や提案を出してくれています。高齢者対応のために社会福祉士の資格を取ってくれた女性社員もいます。

運輸業は男性の職業と思っていましたが、フルタイム以外の人にも働きやすい環境を整えた結果、子育て中の女性など、週3日、1日3～4時間勤務という限られた時間の中でも集中して働く優秀な人材が集まるようになりました。

女性社員が従来の古い考え方に捉われず活躍してくれたことが組織の成長につながり、お客様へのきめ細やかな対応などサービスの向上にもつながっています。

今後の展望

現在女性は全体の2割程度ですが、今後は短時間勤務でも、管理職やプロジェクトリーダーとして起用する予定です。

外国人採用も4年目を迎え、外国人メンバーの職種も広がってきました。

LGBTの方など、さらに多様な人材が活躍できる組織づくりを進めることで、付加価値を提供できる人材を育成し、お客様や地域に貢献できる企業を目指していきたいと思っています。

- 所在地：瀬戸市西松山町2-260
- 事業内容：運輸業、引越サービス、不動産賃貸業、遺品整理・生前整理事業
- 従業員数：111名(男性88人、女性23人)

雇用形態ではなく仕事内容で評価してもらえるので、やる気につながります。

総務部 課長 米山 朝子さん

仕事のやりがい

入社11年目、事務職の中で初めての女性管理職ということもあり、正直プレッシャーはありますが、自分の関わるプロジェクトが少しずつ形になっていく様子を実感しながら働けることにやりがいを感じています。また、性別や勤務体系によって、業務や責任を決められるのではなく、仕事内容で評価してもらえることも、やる気につながっています。

仕事以外の両立

現在、子育て中で短時間勤務ですが、周囲の協力があって成り立っている部分が大きく、感謝の気持ちを忘れないようにしています。

職場環境について

2回の育休、四苦八苦しながらの子育てを通して、自分自身も育ててもらっていると感じます。会社としても、そのことを理解し環境を整えてくださっていることは本当に有難いことだと思います。



オフの時間の過ごし方

子どもがまだ1歳と3歳で、家族の時間・スキップを大切にしています。夏には岩屋堂などに家族で出かけます。

今後の目標

社員の方がより働きやすい環境づくりをしていきたいです。

後輩女性へのメッセージ

仕事・子育てに限らず、どんな出来事もそこから得られるものは必ずあると思いますので、今の人生を楽しんでください。

■ すみ農園

住珠紀さん

すみ農園

所在地 愛知県瀬戸市十軒町341 フェイスブックページ有り

TAMAKI SUMI

Profile

家族の介護や仕事との両立が難しくなったこと、さらに東日本大震災もあり「何が起ころかわからない人生、本当にやりたいことを生涯かけてやりたい。」という想いから農業の世界に飛び込みました。

以前から趣味で家庭菜園をしており、会社員時代に野菜ソムリエの資格も取得。瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会が運営する瀬戸農業塾を卒業後、瀬戸市内の農地で露地野菜の生産を開始しました。

現在はビニールハウスでトマトの養液栽培も行っています。



トライアル&エラーを繰り返しながら少しずつ進んでいけば、自分の理想に近づける。

現在の仕事について

自分自身が育てた商品売るこの仕事は、工夫したことや頑張りなどが売り上げやお客様の声などにダイレクトに反映されるので、厳しい反面やりがいもあり、楽しいと感じます。

鍬一本で土を耕すことから始めましたが、女性にとってはやはり体力的に厳しい仕事だと感じました。今では、トラクターなども導入してある程度軽減することができています。また台風や天候による作物の被害もあり2015年には天候の影響を受けにくいトマトの養液栽培も始め、現在ではおよそ1800本の苗があります。トマトは8月に新たな苗を植え替え10月から7月まで収穫しています。また、トマトの収穫までの期間を使って5月から10月までナスを育てて収穫しています。

当初は産直への出荷が中心でしたが、おかげさまで規模も大きくなり取引先も増えてきました。お店からは色や形だけでなく糖度を具体的な数値まで上げて欲しいなど、商品へのご要望をいただくこともあり

日々勉強です。商品には品種名や特徴、食べ方などをわかりやすく記して、安心して購入していただけるように工夫しています。



女性ならではの強み

女性だけで農業をやっている方は、全国でもまだまだ少なく男性の職業という印象が強いですね。体力が必要なのでやはり女性には大変なところもあります。ただ、ご購入されるのは女性が多いと思いますので、ニーズがわかることはメリットだと感じています。

仕事と仕事以外の両立について

農業という仕事柄なかなか両立することは難しいのが現状ですが、夫が家事などに積極的なのでとても感謝しています。

オフの時間の過ごし方

お盆やお正月も農業にかかわらない日はないほど本当にオフの時間は取れないのですが、作業ができない夜の時間を有効に使うなどしてリフレッシュしています。また大好きな旅行に行けない分、時にはライブに行ったりして「非日常」を楽しんでいます。

今後の展望、目標

農園の規模を拡大していきたいと考えています。また女性ばかりで運営している農園なので、女性に人気のある苺などの施設栽培にもチャレンジしたいです。

近隣市民の皆様認知され、愛され続け、地元の台所となるような農園を作っていきたいと思っています。

新しいことにチャレンジしたいと 思っている人へのメッセージ

まずは小さなことから始めてみてはいかがでしょうか。トライアル&エラーを繰り返しながら少しずつ前進していけば、自分の理想に近づいていけると思います。



- 1.2 愛情を込めて育てている1800本のトマトの苗たち。
- 3 真っ赤に大きく実った「ぜいたくトマト」。お客様の「おいしい」の一言がはげみになります。



■ 窯横カフェ 店主

杉山奈津子さん

窯横カフェ

営業日 金・土・日・祝日 (OPEN 11:00~18:00 / L.O.17:00)

所在地 愛知県瀬戸市東町1-6 ☎ 050-3576-9671 フェイスブックページ有り

ランチ 11:00~14:00 (土・日/ごもセット、金・祝/なつ子のたまご丼)

NATSUKO SUGIYAMA

Profile

会社員だった20年以上前から日本ワインを愛し、その素晴らしさを世の人に伝える何かがしたいと漠然と思っていました。

金属メーカーの営業事務、不動産業務などを経て、2005年にワインエキスパートの資格を取り、4年前から日本ワインに携わる仕事につきました。

仕事上のwebサイトで本業窯の器を使って「家庭料理と日本ワイン」を提案、発信してゆく中で瀬戸本業窯さんの八代目が私の想いに共感してくださり、このカフェをやってみないかとスカウトされました。

今後の展望、目標

私が感じる瀬戸本業窯の器の魅力は2つあります。

1つは約300年変わらず続く手仕事から生み出される器であるということ。自然と向き合い、土も釉薬も半年から1年かけてすべて手作りされる本物の器です。

もう1つは「用の美」「育つ器」であるということ。大切に飾っておく器ではなく、盛り付けた時にこそ料理が引き立つことを実感でき、使い続けていくうちに買入(*)に風合いが増し自分色に育っていく器です。

カフェでは瀬戸本業窯の器を使って料理や飲み物をお出ししています。お客様に目でも舌でも楽しんでいただき、実際に器に触れていただくことで「その魅力と良さ」をお伝えしていけたらと思っています。またあわせて日本の良いモノを発信し続けることを目標としています。ゆったりとした時間の中で「食と器」を楽しんでいただけたら嬉しいです。

※陶磁器の釉薬の部分にできる細かいひび模様

新しいことにチャレンジしたいと
思っている人へのメッセージ

チャンスはいつやってくるかわかりません。一見、仕事には直結しそうでないことでも、興味のあることにはチャレンジして、徹底的にやり遂げる。チャレンジの積み重ねがいつかやりたい事が見つかるキッカケになると思います。



- 1 窯横カフェは瀬戸で約300年の歴史をもつ瀬戸本業窯の登り窯の横にあります。
- 2 手作りのレアチーズケーキは週替わりで色々な味わいをお楽しみいただけます。
- 3 名物ごもセット。「ごも」とはご飯と具(おかず)を別々に炊き、混ぜて食す。職人たちが愛した瀬戸本業窯伝統の味わい。混ぜご飯と季節の野菜と地鶏のつくねのお椀のセットです。

興味を持ったら徹底的にチャレンジ、
その積み重ねがチャンスにつながる。

現在の仕事について

「海外のカフェのように、コーヒーや紅茶と同じように飲み物の選択肢のひとつとして日本ワインを気軽に楽しんでもらいたい」という私の想いを瀬戸本業窯さんがくんでくださり、瀬戸の窯元特有の「ごも飯」や自慢の「たまご丼」などととも日本ワインも瀬戸本業窯の器で提供しています。

山梨をはじめ各地のワイナリーで出会った日本ワイン、木曾漆器や三河わ紅茶、クラフトビール、山椒をはじめとしたこだわりの調味料などmade in Japanの良きモノをお客様にご紹介できることに喜びとやりがいを感じています。

これまで出会った人たちのご縁を支えられ今のカフェがあると感謝しています。

女性ならではの強み

女性だから…男性だから…ということ意識して仕事をしたことはありません。今までもこれからも、ひとりの「人間」として仕事や人と向き合っていきたいです。

瀬戸を活動場所を選んだ理由は

瀬戸本業窯からのお誘いで以前のカフェオーナーさんを引き継いで任せていただけることになり、新たなチャンスだと思い、名古屋市から移ってきました。

仕事と仕事以外の両立について

特別な工夫はありませんが、今までの社会人経験において自他ともに認める程「仕事に没頭しすぎる傾向」があります。ONとOFFをはっきりさせるため、必ず週に一日は仕事をしない日を作るように意識しています。とはいえ、金・土・日は営業、月・火はお店の掃除や事務処理、水曜は買出し、木曜は一日かけてスイーツ作りをして一週間が過ぎていきます。

オフの時間の過ごし方

温泉やワイナリーを訪問したり、各地の道の駅などに出かけ食材や調味料を探したりとドライブを楽しんでいます。

■染付窯屋 眞窯 四代目

加藤真雪さん

染付窯屋 眞窯（そめつけかまや しんがま）

所在地 愛知県瀬戸市中品野町330 ☎FAX 0561-41-0721

HP <http://singama.jp> E-mail singama@gctv.ne.jp

工房にお越しの際は事前にお問い合わせください。

MAYUKI KATO

Profile

小さい頃は、自分がものづくりの道に進むとは思っていませんでしたし、出来るとも思いませんでした。

もともと「食器」が好きだったこともあり、大学卒業後は陶磁器卸売商社に入社し、営業や企画を担当。日本全国をはじめ、世界の陶磁器に触れたことで、瀬戸焼の魅力を再認識し、「ものづくり」に興味を持つようになりました。

専門知識を身につけるため多治見市陶磁器意匠研究所に入所。初心者は私を含め数人しかいない中苦労しましたが、2年間の研修を経て修了。実家の眞窯の製品の魅力を受け継ぎたいという思いが強くなり、家業に就くことを決めました。



1



2



3

今後の展望、目標

今、世界で活躍するデザイナーとコラボレーションして瀬戸染付焼の技術をいかした新商品の開発に取り組んでいます。自分にとっても眞窯にとっても新しい取り組みですが、これを成功させ、瀬戸染付焼を日本だけでなく世界に向けて発信していきたいと思っています。優れた瀬戸焼を自分が作り続けることで、私を育ててくれた「瀬戸」をより多くの人に知ってもらいたいです。

新しいことにチャレンジしたいと
思っている人へのメッセージ

今の仕事に就いて数年は、なかなか自分の作りたいもの、目標とすることが見つけれませんでした。5年経った今、色々な分野の人と会うことで、やっと自分が何をしたいのか、どうなりたいたいのが見えてきました。

はじめからやりたいことを持っているということとは素晴らしいことです。やりたいこととやる気があれば何でも出来ると思うので、どんどんチャレンジしてください。

- 1 瀬戸焼の伝統的な技術とデザイナーの感性との「出会い」と「融合」がテーマの瀬戸焼ランデヴュープロジェクトによりデザイナー島村卓実氏とコラボレーションした新商品「FLOW」
- 2 工房から見える実のなる木をイメージした「青い小枝」シリーズ
- 3 焼成を待つ素地

一人のつくり手として評価を得られる作品を
創っていききたい。

現在の仕事について

子供のころに喜んで祖父の手伝いをしていたので、今同じ仕事に就いていることを嬉しく思います。祖父の代の製品とはイメージもずいぶん変わりましたが、品質とデザインにこだわり、ニーズに合った製品を作ることでお客様に喜ばれるものを届けたい、その思いは変わらずに続いていると思います。

家業に就いて5年経った今、少し自信もついて今後の具体的なビジョンを考えられるようになり、やりがいを感じています。

今まで受け継がれた瀬戸染付焼の伝統の技術を生かしつつ、伝統にとられない新しさを取り入れた製品を作り、瀬戸染付焼に新しい風を吹かせたいです。

女性ならではの強み

ものづくりの世界では、出来上がった製品が全てなので、男性も女性も平等に評価されます。仕事をする上でとくに「女性だから」と感じることはありませんが、販売している時に、お客様から「女性らしい器だね」と

言って頂いた時は、女性の感性で作った器は受け入れられやすいのかなと思うことがあります。食器を購入するのは女性が多く、女性の手から生み出された製品はやわらかさがあり、それが伝わるのかもしれない。

仕事と仕事以外の両立について

忙しい時は休みがとれないこともあります。美味しいものを食べたりして、適度に息抜きをしています。まとまった休みが取れたら旅行などに出かけますが、街にあるデザインや売っているモノなどをつい仕事目線で見てしまいますね。

オフの時間の過ごし方

オフの日は友人と出かけたり、仕事の参考になるようなイベントに出かけたりします。小さい頃、瀬戸のまちを歩いていると、やきものに関わる職人の息遣いを感じられるところが好きでした。今でも、市内をぶらぶらと散歩するのがお気に入りです。

■ フォトデザイナー

林 かなこ さん

フォトデザイン・キャラバンサライ

HP <http://caravan-serai.net/>

KANAKO HAYASHI

Profile

学部で経済学を、大学院で開発学を専門的に学んだ後、東京で途上国支援を行う国際開発金融機関等に務めていました。エジプトにも仕事で3年強滞在しました。国際協力はライフワークにしたいと思っており、現在も時折、途上国支援関連のお仕事もしています。

結婚、出産後は瀬戸で暮らしています。かつてあるネットショップの構築・運営をした際、写真の重要性に気がつき、一眼レフカメラを購入して独学で写真技術を習得。撮った写真をホームページやブログにアップしたところ、知人から撮影を依頼されるようになったのが現在のフォトデザイン業を始めたきっかけです。

今後の展望、目標

これからもご縁をいただいたお客様に対して、誠実にかつ丁寧に向き合っていきたいです。また、私なりのフィルターを通して、「写真」という視覚に訴えるツールを使って、地元瀬戸市の魅力を世に紹介するお手伝いができればとも考えています。

また、ホームページの英語版を完成させて、海外から観光に来られた外国人の方々のファミリーフォトも撮ってあげたらと考えています。

新しいことにチャレンジしたいと
思っている人へのメッセージ

10年前には、今自分がこうして写真を撮るお仕事をしているとは夢にも思っていませんでした。人間、どんな所で芽が出るか分からないものです。私の場合は、地元瀬戸で根を張りつつ、どんな仕事ができるかな? と思い、「せと・しごと塾」^(※)に入塾したのが始まりでした。

どんなに小さくてもいいので、まずは一歩を踏み出すのが大切。そうすれば、自然と道は拓けるものなのかなあとと思います。

※せと・しごと塾とは、行政・商工会議所をはじめ、地元企業・大学・金融機関などが起業したい方を支援する地域に根ざした創業塾です。



1 瀬戸市内にある日本茶専門店「茶のいろは」さんでの商用撮影
2 モリコロパークでの家族写真
3 瀬戸市のポーセリンカメオの製造販売元、TOHCA(陶華)さんでのアクセサリ撮影
4 瀬戸市の観光散策路「窯垣の小径」での七五三写真



小さなアクションを起こすことが大事
やらないで後悔するならやってみましょう!

現在の仕事について

写真撮影やデザインにまつわる仕事を自ら起業しました。スタジオはなく、出張撮影スタイルをとっており、販促にはホームページ等インターネットをフル活用しています。七五三やお宮参り、お誕生日記念といった家族写真をはじめ、プロフィール写真や商用写真の撮影等も。お子さんを撮らせていただく場合は、かしくまったポーズにこだわらず、自然な表情を切りとることを常に意識しています。

女性ならではの強み

私が女性であることから、エステサロン等からの撮影依頼をいただくこと、そして母であることから、お母さん達が残しておきたいと思うお子さんの何気ない表情を見逃さないことでしょうか。

仕事と仕事以外の両立について

撮影よりもPCの前に座って編集している時間の方が圧倒的に長いです。自宅で料理の煮込みをしたり、洗濯機を回しながら仕事ができるので、家事との両立はしやすい方なのかなと思います。また、自営業なので時間の都合がつけやすく、子供の学校の参観等にも大きな支障なく出席しています。

オフの時間の過ごし方、
瀬戸のお気に入り

読書が好きです。子供たちと外出するのもしリフレッシュになります。他には、ペットの猫と戯れることでしょうか?

瀬戸市のお気に入りの場所は、尾張瀬戸駅を中心とする中心市街地です。仕事で瀬戸の産土神、深川神社へよく行きますが、訪れる度に心が洗われるような気がします。

瀬戸市のサービス

健康・医療

- 女性の健康診査、妊娠届出の受付・母子健康手帳交付、妊婦の健康相談、マタニティ教室、こんにちば赤ちゃん訪問 等 **健康課** ☎85-5511
- 予防接種ナビ <http://seto.city-hc.jp/>

そだてる

- 保育園、一時保育事業 **こども家庭課** ☎88-2630
- セとっ子すくすく相談 **こども家庭課** ☎88-2636
- 放課後児童クラブ モアスクール 等 **こども家庭課** ☎88-2635
- ファミリーサポートセンター、病児・病後児一時預かり **ファミリーサポートセンター** ☎97-2525
- 子育て相談 **家庭児童相談室** ☎82-1990
- 子どもの発達に関する相談 **発達支援室** ☎88-2415
- 子育て支援サイト <http://www.city.seto.aichi.jp/kosodate.html>

起業・経営支援

- セと・しごと塾、瀬戸市中心市街地商店街空き店舗対策事業費補助金 **産業課** ☎88-2652
- 市内で事業を営んでいる方や創業を目指す方への支援 **産業支援センターセと** ☎97-1191
- 空き工房制度のご案内 **産業課** ☎88-2651
- 空き家情報バンク <https://seto-life.jp/> **都市計画課** ☎88-2686
- 中心市街地空き家等利用促進補助事業 **都市計画課** ☎88-2686

農業

- 瀬戸農業塾 **アグリカルチャー推進プロジェクトチーム** ☎88-2653

地域活動

- NPO相談 **市民活動センター** ☎97-1161

男女共同参画

- 男性も女性も輝く「まち」づくりを目指し、女性のためのキャリアアップセミナーや男性のための子育て支援セミナー、親子で参加できる体験教室等を行っています。
交流学び課 ☎97-1337

愛知県の情報

あいち女性の活躍促進応援サイト <http://www.pref.aichi.jp/danjo/jokatsu/>

瀬戸市では、平成28年1月5日に「瀬戸市長 女性の活躍推進 行動宣言」を表明しました。また、同年11月1日には、市長をはじめとする幹部職員が「瀬戸市イクボス宣言」を行い、市役所が地域のモデルとなるよう、更なるワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいくことを宣言しました。これからも性別に関わらず誰もが生き生きと活躍できるまちづくりを進めてまいります。

